

# N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO: PO Box 6414 Lincoln NE 68506 USA www.nsdapao.org

#1103 04.05.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen

第二の革命 第一巻:信仰と闘争

### 第16部

私たちは、他の多くの人たち、つまり、生ぬるい人、疑う人、知ったかぶりの人、ブルジョワを望んでいません!

成功が我々の側にあれば、彼らは自発的にやってくるだろう。私たちはブルジョア世界の呵責や恐怖を気にしない。私たちが団結し、陰謀的な共同体を形成する限り、私たちは無敵である。そして、もし数千人が刑務所に座り、他の人たちはみんなに狩られることになる:

死でしか消せない炎が、私たちの中で燃えている!大物たちは、私たちに 歯噛みしています。彼らは私たちを理解しておらず、だからこそ、無力な ままなのです。彼らは、「繁栄」「平和」「経済成長」という言葉で考 え、私たちを犯罪者のように扱い、同時にこう言うのです:

"反動で国民民主党に行け!この国と折り合いをつけろ!そうすれば誰も

#### 傷つけない。"

いいえ!私たちは、このシステムを決して認めず、ドイツへの裏切りを決して許さない!すべてが売られているように見えるこの時代に、私たちは買われるわけにはいきません。我々は、この腐敗と退廃の時代に対して、我々の意志を設定する。私たちは、あなた方の尊敬に唾を吐く。それは、あなた方の中にある想像を絶する悪と堕落を隠すための幕に過ぎない!暴力に屈せず、賄賂に屈せず、あなた方がもはや自分自身を信じられなくなっている甘い言葉の響きに屈しない。どうやって信じられるというのだ?

私たちの存在を特徴づける6つの用語があります:

信仰です。 オビディエンスです。 奮闘しています。 仲間意識があること。 ウィルです。 パワーです。

ドイツと私たちの運動に対する信念が、私たちの取り組みの原動力となっています。<a>
ています。</a>

軽率なシニシズムや退屈な傲慢さ、さらには諦めや退屈な運命に満ちた世界で、私たちは信仰の熱い炎を守っています。それは私たちの若い人生を決定づけ、未来への力と希望を与えてくれます。しかし、この信仰には、空回りしたり、想像を絶するようなものは何もありません。この信仰には、具体的な内容である私たちの人々、そして具体的な目標である彼らの未来があります。この信仰こそ、私たちの意味であり、目標であり、私たちは常にこれを守らなければなりません。"Faith in the movement!"それはまた、次のような意味もある:

"彼らのリーダーシップを信じろ!"ファイターは、溶け込むことができ、

服従を実践することを学ばなければならない。**"服従を学ばない者は、決して命令を下すことができない!"** 

#### 服従は我々の革命の偉大な美徳である。

最高の人材をトップに据え、指揮と規律の全権を与える運動では、服従が厳格に実践されなければならない。私が意味するのは、魂のない幹部への服従ではなく、私たち全員が共通して持っている偉大な夢の実現に、自分の規律をもって貢献したいという自発的で熱心な願望である。勝ちたいのであれば、大きな議論をすることは許されない。一人が指揮を執り、全責任を負う。他の者は、自分自身が役員として、あるいはいつの日か政治指導者として運動に奉仕する準備が整うまで、我々の革命の偉大な前線に参加しなければならないのだ。

#### 闘争は、私たちの人生の目的です。

闘争や男性的な試練に喜びを見出すのは、健康的で自然なことです。戦いの中で、自分自身を確認し、敵に立ち向かってこそ、私たちは幸福を見出し、本当に運動に貢献することができるのです。多くの人は演説をしますが、私たちの場合は、戦い、自分自身にコミットし、迫害と犠牲を引き受ける必要があります。この世界では、物事は行動によってのみ変化するものであり、決して自慢げな演説によってのみ変化するものではありません!戦いの中で自らを証明し、そこで崇められ、確認されるまでは、何事も本物ではありません。戦いは、権力者の闘いであり、それは最高の、価値のあるものを選ぶことである。歴史を作る人たちは、ここで発見され、ここで決定されるのです。私たちは闘いを避けるのではなく、闘いを求めるのです!私たちには、オール・オア・ナッシングしかないのです!

我々の敵を破壊し、我々の同胞の敵も破壊しなければ、我々はテストに失敗したことになる。我々は、決して妥協してはならない。我々は、いかなる状況においても革命家であり続けなければならず、戦術においては柔軟であるが、原則においては毅然としていなければならない。快適さを軽んじ、犠牲を要求するこのような生活態度は、ごく少数の、つまり最高の人たちにしかアピールできないのは当然です。そのような人たちに属するこ

とが、私たちの誇りなのです。

#### 仲間意識はコミュニティの基本です。

親元との軋轢、逮捕、裁判など、険しい道のりが待っています。嫌がらせ、迫害、刑務所。これらすべては、私たちが共に属していることを感じ、知ることによってのみ耐えることができるのです。運動は、若い過激派にとって本当の家にならなければならない。ここでは、彼らの願い、考え、心配事、問題など、真剣に受け止められ、ケアされ、一人が他の人のために立ち上がるのです。ここでは、誰が小学生か学生か、見習いか失業者かは関係なく、ただ "あなたは良い同志か、行動の準備ができている戦士か、そしてまっすぐなドイツ人か"と問われるのです。

同志愛は、我々の運動が個人に対して要求する最も重要なものである。他 人の同志になれない、あるいはなりたくない者は、われわれの隊列に入る ことはできない!私たちはこの精神を守らなければならない。私たちの同 志関係の模範が説得力を持つならば、すべてのドイツ人のフォルクスゲマ インシャフトのための私たちの闘いは意味を持つのである。

#### 意志は、私たちの勝利の前提です。

我々は運命や偶然を信じず、敵の優越に直面して絶望せず、ブルジョア世界の陰鬱な予言を笑い飛ばす:

私たちは、意志が世界を形成することを知っています。規律正しく宣誓した共同体は、熱烈な信念と鋼鉄の意志が結集すれば、この世界で何でも成し遂げることができます。ドイツの歴史において、7人の男たちから始まったこの運動が、一つの国を征服し、6年間敵の世界と裏切りの深淵に抗い、敗北の後、禁酒法と恐怖にもかかわらず再び若者の心をつかんだという、これ以上の英雄的歌はあるだろうか。しかも、わずか1世紀で。これが意志の力であり、アドルフ・ヒトラーに

「国家社会主義は、ドイツ史の次の数千年を決定する!」と言わしめたのも、この意志である。

#### パワーは私たちの闘いの目標です。

私たちはセクトリアンではありません!政治的な自慰行為は、私たちから遠く離れています。権力への意志は健全なものであり、私たちは権力に手を伸ばすことを恐れない。しかし、私たちは権力をそれ自体のために欲するのではなく、自分たちの考えに従って世界を形成するために欲するのです。権力の乱用は、私たちの運動の学校を経た人々から期待されるものではありません。しかし、権力は不可分なものです:

制限された権力は、制度化された無力である。したがって、国家社会主義 運動は、ドイツ全土で無制限の権力を要求する。この権利は、過去60年間 にわたる人民のための闘士たちの犠牲と、わが党の主張から生まれたもの である。これらは高い前提条件であり、それゆえ、我々の運動は今後長い 間、少数であり続けるだろう。しかし、私たちはそれを望んでいる。

時が熟せば、現在形成されている幹部から大衆運動が生まれるだろうが、 指導者部隊の選抜は、依然としてこれらの要件に照らして測定されなけれ ばならない。1919年にファシズムによって作られたこれらの概念は、あら ゆる国や時代の民族的自由戦士のための法律となり、私たちに適用されま す。ムッソリーニの言葉が当てはまる

:

#### "信じる"こと!従え!戦え!"

そのような共同体は、たとえどんな敵が立ちはだかったとしても、いつの 日か勝利しなければならない:

"下"と"上"は関係ない、 そして、私たちに全世界を与えることができる 呪う、あるいはまた褒める、 彼女の好みに合わせて!"

#### 第二革命

ヒトラーは全く間違いを犯さなかったのか」とよく聞かれますが、「*ヒトラーは大きな間違いを犯した」と*答えると、いつも恐ろしい顔をされます: 1933年当時、彼は十分に過激ではなかったのです!"と答えると、いっも恐ろしい顔をされます。

誤解を生まないようにしたい:

革命は、銃の煙、「銃殺隊」、バリケードから生じる必要はないのです。 私は、窓ガラスを割らずに革命を起こすというヒトラーの戦略を批判して いるのではありません。「それが可能なら、なおさらである。

しかし、1933年1月30日の民族蜂起は不完全なままであった。正しくは、 数百万人のSAによる革命軍である:

"国家革命は終わったが、社会主義革命はどこにあるのか?"やがて、革命的な国家社会主義者たちは、第二革命について、来るべきSA国家について語るようになった。この第二革命のたゆまぬ擁護者は、SAの参謀長であったエルンスト・レームであった。相次ぐ集会、SAのパレードや行進、レームによるインタビューやスピーチ、これらすべてが、革命の精神を維持し、マルクス主義の後に反動を粉砕するという目標に近づくためのものだった。そして、エルンスト・レームは只者ではなかった:

アドルフ・ヒトラーは常に、彼なくして勝利はあり得なかったと認めざるを得なかった。総統のために計り知れない犠牲と絶え間ない献身を払って勝利を勝ち取った嵐の分遣隊の不断の組織者であったのは彼であった。NSDAPの創設後、1919年から1923年にかけて、ライヒスヴェールやフライコルプスとのつながりを通じて、NSDAPを重大な政治的要因にしたのも彼であった。彼は、1931年以降、党の兵士の団結と規律を確保し、評判の高いSA精神の真の創造者となった。総統に対する彼の献身と忠誠は、その明確で外交的でない、妥協のない決意と同様によく知られていた。

だから、国家社会主義運動が与えた最大の栄誉を受けたのは、エルンスト・レームでもあったのだ:

エルンスト・レームは、1933年の「勝利の帝国党大会」において、11月9日の殉教者の死者を悼み、総統と対等に並んで歩いた。 政権奪取の前も後も、党の同志にこんなことが許されたのは初めてだった。このようにして、アドルフ・ヒトラーは、国家社会主義運動の勝利のために参謀長が貢献したことを象徴的に強調した。ドイツの自由運動全体にとって、エルンスト・レームは、われわれの闘いのモデルである!そしてその一方で、国家社会主義運動であるNSDAP/AOもまた、彼を公式に更生させたのである。エルンスト・レームは、ヒトラーに対する暴動を計画したわけではなく、反動分子(特に国防軍関係者)の汚い陰謀の犠牲となった。1934年6月30日、SAの権限剥奪から、1944年7月20日、反動による暴動まで、一直線に繋がっている。一方がなければ、もう一方は考えられなかっただろう。

これは、若い世代の革命闘士の確信であるが、また、いわゆる「レーム一揆」と呼ばれる出来事を、自らの経験から今も知っている多くの年配の同志たちも、私たちに同意している。彼ら、NSDAPのかつての革命的な翼は、忠誠を保っている唯一の存在である。他の者たち-保守派、俗人、反動派-は、ほとんどが裏切り者となり、名誉や誓いを忘れ、戦後の占領政権と折り合いをつけ、その中には、後に高い地位や最高位に仕えた者もいる。我々の運動の歴史に、「ハルツブルグ戦線」や「ポツダムデー」はもう存在しないのだ。

#### それは一体誰なのか?反応ですか?

この言葉の裏には、どんな政治的、思想的な流れが隠されているのだろうか。リアクションは、多腕の怪物に似ている。リベラルな勢力や国家保守勢力、腐敗した社会の古い階級や層、つまり、とっくに時代遅れで無意味になった特権にしがみつくすべての人たちが含まれます。反動には、政治化する教会界やシオニストのオピニオンメーカー、民主主義者や職業奉仕者の腐敗した支配階級全体、要するに、私たち国民の未来へのチャンスを破壊しているこのシステムの存続に関心を持つすべての人々が含まれます。

その歴史における3つの決定的な敗北は、反動によって国家社会主義に もたらされた:

**1923年11月9**日、国家社会主義革命は、反動的なバイエルン州政府と軍の指導者により、暴力と不忠誠実さで鎮圧された。

1934年6月30日、反動層の陰謀により、革命的なSAは権力を奪われ、 第二革命の象徴であったエルンスト・レームは、SA指導部のほぼ全員 とともに惨殺された。

#### 1944年7月20

日、絶え間ない犯罪的裏切りによる錯乱は、血まみれのクライマックスに到達した。粛清は10年遅れで行われ、もはや敗戦を回避することはできなかった。

反応は巧妙に自分を覆い隠すことができるので、危険な相手である: 占領政権は自由民主主義を装い、屈服政治家は国民的に信頼できる愛 国者、反共産主義者を装う。

反動は、マルクス主義とその信奉者のような公正な相手ではありません。また、難なく攻撃され、破壊されるような統一された組織でもない。反動は、ブルジョワの呵責、恐怖、愚かさを政治に転化したものである。だからこそ、戦うのが難しく、我々にとって危険なのである。

しかし、反動陣営におけるわれわれの運動の最悪の敵は、ドイツ国民と国民民主主義者(ここでは党名としてだけでなく理解する)のいわゆる「国民的反対派」である。これらの「同じ国民」は、軟弱な抑圧の大混乱の中で、意識的にせよ無意識的にせよ、その任務を果たしている。体制への適応は、右派を現代の革命的潮流から孤立させる。経済的、資本的利益を擁護する彼らの行動は、不満に思い、不利益を被っている多くの人々から我々を遠ざける。国内陣営を「かつて存在した最高のCSU」に仕立て上げようとする彼らの反社会主義が、労働者階級の共感を失っている。彼らの偽善的な国民的プロパガンダと国家安全保障による彼らの容認は、そうでなければ我々に加わっていた

であろう多くの同志を拘束している。

この「国家小ブルジョアジー」、つまり反動主義者たちは、戦後、さまざまな形で私たちと対峙してきた。今のところ、彼らの最新の姿は、NPD-ドイツ国家民主党(!)党である。今日の政治を扱うことは、この論文の任務ではない。ここでは、ほんの少しだけ:

我々の目標は、NPDの分裂と破壊を進め、その革命的、愛国的な翼を自分たちで引き継ぐことでなければならない。なぜなら、NPDやそれに匹敵するグループは、国家的なものではないからです!彼らは、カース、ロッソ、ザイサー、ヒンデンブルグ、ヒューゲンベルグ、シュトラウス、V・タデンの後継者である。彼らは反動のトロイの木馬である。彼らは、新しいドイツを目指す闘いにおいて、二度と味方になってはならない。我々は彼らを別の場所で探さなければならない:

不満足な人々、恵まれない人々、労働者や失業者、そして明日の革命の担い手である落ち着きのない若者の中で。

だからこそ、我々の革命は、1933年1月30日の第一次革命とは異なるものになる!

必ずしも暴力的というわけではなく、より一貫したものです!

私たちは今、敵味方を知り、私たちの中に革命の炎を保つ必要性を 知っています。我々は、ふさわしくない者に運動の隊列を開くことは ないだろう。そして、祖国の敵が滅ぼされるまで、我々は休むことな く、休むことはない。誰も私たちに惑わされないでください:

私たちと戦う者は潰され、私たちを笑う者はすぐにその笑いを失う!

しかし、私 たち国民のより良い未来への道を誠実に求める人々 には、私たちは手を差し伸べます!

ドイツのためにすべてを捧げる!







### NSDAP/AOは世界最大です

## 国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物 多くの言語の何百冊もの本 多くの言語の何百ものウェブサイト





www.third-reich-books.com